

式 辞

昭和五十二年、一九七七年四月六日、新庄北小学校第一回入学式。

今からちようど五十年前。私もみなさんと同じこの小学校のこの体育館で、今、新一年生のみなさんが座っているところに、みなさんと同じようにドキドキしながら座っていました。

そして、時を経て五十年後の今日。記念すべき第五十回入学式。この学校の卒業生として、そして校長として、かけがえのないここにいる二十六名のみなさんを新一年生として、お迎えすることができます。何か深いつながりを感じます。心から本当にうれしく思います。

改めて、新一年生のみなさん、入学おめでとうございます。ようこそ、葛城市立新庄北小学校へ。みなさんの先ほどの返事、みなさんの笑顔。その一つ一つがとなりにいる友達にパワーを与えます。その一つ一つが後ろにいるお姉さん、お兄さんの背中を押します。その一つ一つがお家の方や先生たち、地域の方を幸せにします。みなさんは新庄北小学校の宝であり、これからの新庄北小学校の未来です。私が六年間通ったこの小学校に入学してくれて、ありがとう。

みなさんには新庄北小学校の自慢を三つお話したいと思います。

一つ目の自慢は、後ろにいるお姉さん、お兄さん

です。登下校の班長として、「伝わるあいさつ。守る安全」を合い言葉に、みなさんを安心、安全に連れてきてくれます。広報かつらぎ四月号でも取り上げられました。本校は子どもたちの主体的な活動が評価され、セーフティプロモーションスクールに認証されました。これが認証盾です。また、縦割り班、チャレンジ班といいますが、チャレンジ班掃除で、掃除の仕方などを優しく教えてくれます。また、委員会活動では、日本一楽しい学校になるように、自分からアイデアを出して、笑顔になれる活動をしてくれます。とても素敵なお姉さん、お兄さんです。ありがとうございます。

二つ目の自慢は、お家の方を含めた地域の方です。学校支援ボランティアの方は四十名もいて、運動場や畑の草引きや溝掃除など、学校を綺麗にしてくれたり、サツマイモの苗植えや芋掘りの仕方、プール水泳やお琴という昔の楽器の演奏、昔の遊びや生き物、絵や工作などを優しく教えてくれたりします。体育館の後ろに表彰状があります。が、昨年度、新庄北幼・小PTAは優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しました。お家の方や地域の方の学校に対する熱意や協力が国に認められました。先生たちが知らないこともいっぱい知っているお家の方、地域の方がたくさんいます。ありがとうございます。

三つ目の自慢は、この学校の先生たちです。授業が面白くなるように、大きな学校ではできないような体験をしたり、専門家を呼んで特別授業をしたりしてくれます。また、他の学年や附属幼稚園ともたくさん交流をして、たくさんのお友達ができるように、たくさんのお友達の良いところを知ることができるようになっています。ありがとうございます。

ございます。

今日、皆さんに覚えてほしい、贈りたい「大切な言葉」があります。先日の第一期の始業式の時にも、後ろにいるお姉さん、お兄さんにも話をしました。何か分かりますか？

それは、「共創（ききょうそう）、共に創ろう」という言葉です。「共創」とは、「みんなで力を合わせて、新しいものを創り出す」という意味です。一人ではできないことも、友達と一緒にならできるようになるかもしれないかもしれません。みんなでアイデアを出し合えば、もつと楽しい学校になるかもしれません。

新一年生のみなさん、自分でやってみて、頑張ってみて、困ったことがあれば、後ろにいるお姉さん、お兄さん、左側にいる先生たち、右側にいる地域の方に相談してください。優しく丁寧に教えてくれると思います。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠にありがとうございます。

今、皆さまの目の前に座っているお子様の少し大きめの制服姿。大きなランドセルを背負った小さな背中をご覧になりながら、生まれた瞬間のこと、そして入学するまでの六年間を振り返り思い出されているのではないのでしょうか。

初めて寝返りを打った日、初めて名前を呼んでくれた日。熱を出して心配で眠れなかつた夜もあつたことでしょう。そんな日々を積み重ねて、今日という日を迎えられました。ここまで、深い愛情で、深い絆で育ててこられた保護者の皆様に、心から敬意を表します。

本校は、今年度、創立五十周年という大きな

節目を迎えます。この半世紀の間、たくさんの地域の方や卒業生、先生たちが、力を合わせてこの学校を大切に育ててきました。

「共創(ききょうそう)く、共に創ろうく」は、子どもたちだけへの言葉ではありません。

教育とは、学校だけで完結するものではなく、家庭と、地域と、そして学校が、手を取り合い、一つの家族のように「ここにいる子どもたちの未来」を共に創り上げていく営みです。

これからの六年間、お子様が壁にぶつかってもあるかもしれない。涙を流す日があるかもしれない。しかし、そのすべてが、かけがえのない成長の糧となります。

この新庄北小学校を卒業する時、失敗を恐れず自信を持って挑戦できるように、誇りを持って粘り強く未来を生きることができるよう、全教職員が一丸となつて、お子様一人ひとりの歩みを共に創っていきます。

最後に、今日という日が、お子様にとって、そしてご家族の皆様にとって、生涯忘れられない素晴らしい一歩となることを祈念し、また、これまで本校の子どもたちの成長を願い、支えてくださったすべての皆様への感謝を込めまして、式辞といたします。

令和八年四月九日
葛城市立新庄北小学校

校長 中川 純一